

大樹の礎

Taiju no Ishizue



第三回 入学式を挙行

平成 21 年度

日本医療科学大学 入学式

第三期生 二百三十九名が入学

桜の花も咲き揃った四月二日、日本医療科学大学第三回入学式が川越プリンスホテルで挙行されました。

本年度の新入学生は、診療放射線学科百六名、

リハビリテーション学科理学療法専攻専攻百一名、同じく作業療法専攻三十二名の計二百三十九名で、大型のスクリーンに映し出される中一人ひとりが認証を受け、新入生を代表して作業療法専攻の曾我優樹君が宣誓を述べました。

式典には新入生の数を大きく上回る三百名弱の保護者、御父母の参加があり、本学関係者とともに新たな出発を見守りました。



期待と希望でいっぱいだと思います。どうぞその新鮮な気持ちをお忘れなく、卒業の日まで持ち続けてください。さて、皆さんは今日から大

高い学士力を

身につけよう

学長 佐藤泰正 式辞（要旨）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。いま皆さんは、これから始まる大学生活に期待と希望でいっぱいだと思います。どうぞその新鮮な気持ちをお忘れなく、卒業の日まで持ち続けてください。さて、皆さんは今日から大

学生です。大学というところは、教育と研究を行うところであり、その教育は高い教養と専門的能力を培うところ、でなければなりません。本学の卒業生には、診療放射線学士、理学療法学士、作業療法士のいずれかが与えられますが、最近大学の社会的責務の一つとして、しっかりと「学士力」を備えた卒業生を社会に送り出すことの重要性が叫ばれています。ここでいう「学士力」とは、先に述べ

た「高い教養と専門能力、研究能力」を意味していますが、本学ではこうした能力を十分身につけられるような教育課程を用意しています。充実した教育科目から始まり、臨床面を含めた保健医療に関する専門的能力を身につけるための教育科目に引き継がれます。どうか本学のすぐれた教授陣とともに「学士力」の中身となる幅広い教養、医学・医療に関する専門的知識と臨床の技術、さらに医療に関する研究能力をみがいてください。皆さんが日本医療科学大学の三期生として後に続く後輩たちの模範となることを心から期待して式辞といたします。

私たちが教えます

本年度着任の教員を御紹介致します。

- (①専門分野 ②担当科目)
③本学学生の印象と学生に望むこと



喜多村 章一
①放射線物理学 ②原子核物理学概論

③初々しい学生が多い。国家試験全目合格を目指せ。



坂本 重己
①放射線医学 ②医用電気工学 ③素直

な学生が多いです。仲間を大事にし、一生の友人をつくってください。



小川 互
①医用画像情報学 ②X線画像解剖学

③「報恩感謝」を心に刻み、常に忘れず、幸せて立派な人になってください。



三田 満男
①電気工学 ②医用工学実験 ③将来の

目標をしっかり持ち、その目標に向けての勉強意欲が感じられます。



鈴木 保
①CT・MRIの性能評価 ②X線画像

検査技術学 ③楽しそう。立派な医療従事者になってほしいと思います。



富田 浩
①理学療法学 ②機能力診断学 ③挨拶ができる。元氣。荒削り？ 悔いのない大学生活を送ってほしい。



柴田 雅祥
①神経科学 ②応用生理学 ③のんびり

生活を送ってください。



渡部 由紀
①内部障害系理学療法 ③元氣一杯で礼儀正しい学生さんが多いと思います。



本田 豊
①身体障害系の作業療法 ②作業療法評

価学 ③元氣で明るい。少しずつ大人に成長していきましょう。



西田 典史
①運動学 ②臨床運動学 ③医療の道を

目指す学生らしく、優しさを感じます。目標を達成するための強さを併せ持つ人であってほしい。



巖山 泰地
①身体障害作業療法学 ③受け身な学生

が多いように思います。自ら進んで行動してください。

連続エッセー③

総合臨床実習に向かつて

作業療法学専攻

専攻長 木之瀬 隆

開学3年目を迎え、1期生は3年生となり専門科目を積極的に学んでいます。専門科目を理解するには、1・2年の基礎医学などの復習が不可欠です。2学年の評価実習で臨床現場の厳しさやリハビリテーションの醍醐味、患者様と接する深しみを理解して帰ってきました。しかし、学生はその中で、医学知識の乏しさをいやというほど思い知らされました。前期の現在、それを克服すべく、講義の中で学生、教員も一生懸命です。

専門科目が後期で終わる来年の1月からは総合臨床実習が始まります。現在のモチベーションを維持し座学と学内実習をしっかりこなせば、総合臨床実習はこわいものではありません。知力・体力・精神力を充実させ学習に励んでほしいものです。学生の皆さんは、4年生で総合臨床実習を無事に終了すると、卒業論文、就職活動、国家試験とつながり、暗れて国家資格のある専門職として働くことになりそうです。大きな希望を持って学業に励んでください。

(きのせたかし 本学教授)

実地に学ぶ！ 専門職への一里塚

リハビリテーション学科生の臨床実習

リハビリテーション学科では、入学時から各学年の学習の深まりに即して、病院や施設などで、経験ある療法士から指導を受けながら実際の診療場面に接し、実地に学ぶ「臨床実習」が行われます。1年次に「見学実習」(1週間)、

2年次に「評価学臨床実習」(1ヶ月間)、3・4年次に「総合臨床実習」(2ヶ月間、各年次1回ずつ都合2回)があります。

これらの実習で、学生は療法士の業務の実際を知り、専門知識や技術の経験を積むこととなります。同時に、実習地の職員・患者様はじめ初対面の人々との出会いでもあり、それらの人々に受け入れていただけるか、どう関わりをもてるか、学びとる力や自らの足元を見つめる力など、専門知識技術のほかに、基礎的な自らの資質を自覚させられる機会でもあります。

患者様と接する中で、障害がもたらしているもの、患者様の思いや願いを知り、患者様に寄り添いともに明日へ

向かって歩む心の大切さも学ぶことになるでしょう。患者様の回復の喜びや感動とも出会えたら、この道を選び努力してきた甲斐があったとしみじみ実感できることでしょう。

この春、1期生が2年次の「評価学臨床実習」を終えて帰ってきました。大学を離れ、一人で懸命に取り組んだ本格的な臨床実習です。学生有志に実習の感想を寄せてもらいました。

「評価学臨床実習」を終えて

リハビリテーション学科

理学療法専攻3年 藤原 大輔

平成21年の2月1日から2月27日まで、「評価学臨床実習」に行ってきました。実習を終えた直後の正直な気持ち、「長い緊張からやっと解放された」という安堵感でした。4週間に及んだ今回の実習は、1年次の見学実習とは全く違って、患者様に対して一人の医療従事者という立場で接しなければ

ならず、責任が重く多大な緊張を強いられた毎日だったからです。

しかし、患者様とのコミュニケーションや評価や治療などを実際に体験することができ、机上の勉強だけでは学ぶことのできない貴重な経験をすることができました。実習に行ってみて、知識・技術・精神力・忍耐力・積極性や言葉使いに至るまで、ありとあらゆる要素がまだまだ不十分であることがわかり、自分の今後の課題が浮き彫りになってきました。そして、理学療法士という職業についてより一層の責任感とやりがいを感じるようになりました。勉強に対するモチベーションも高まりました。

実習終了後、私は無事に3学年へと進級することができましたが、次の「総合臨床実習」を見据えて、実習で浮き彫りになった課題を少しずつでも解決し、また新たな学問を吸収すべく学業に励んでいます。

リハビリテーション学科

作業療法専攻 3年 志田 梓

2年生、最後の大きな壁、評価学臨床実習を終えてきました。実習は4週間及び、その間は辛さ、不安、緊張との闘いでした。しかし、今現在では、協力していただけた患者様、指導者の

先生方に感謝しています。

学生という立場での初めての環境で、一人で指導者の先生方から指導を受ける状況は緊張の連続で、頼れる人がいないと毎朝が苦痛でした。学内で学んだ知識・技術も、患者様の前では上手くいかず、教科書の知識だけではあてはまらない出来事が現場にはたくさんありました。それは理解に苦しむことであり、また、解決するには多くの時間を費やしましたが、先生方の懸命な指導によって無事に合格を得て終了することができました。

3年生になり、実習をふり返ってみると、事前の準備と心構え、患者様を担当させていただけのことへの感謝を常に頭の中に置きながら学業に励むべきだと自然に思えるようになりました。どんな授業でも必ず現場に必要な知識とつながっています。毎日が実習、作業療法士に向けた大切な日々であることを気付かされた4週間でした。



日本医療科学大学 入学式

医療人としての理想を描け

理事長 新藤宣夫

挨拶(要旨)

只今、認証を受けられました二百三十九名の学生諸君、並びに御父母の皆様、心からご入学をお祝い致します。諸君は、人の生命、健康に関する事に生き甲斐を求め、医療従事者、コメディカルの一員を目指して日本医療科学大学に入学してきました。

医療に従事する専門性の高い職業は、学校教育そのものが職業教育であり、国家資格を得る教育機関です。しかし、社会経験の乏しい諸君にとって自分の描いていた姿と現実の姿にはギャップ



があり、これを埋める努力も大切です。本学に入学した諸君の第一の目的は、国家資格を得ることでしょう。先生方の指導に従って努力すれば必ず全員が合格するだろうと確信しています。

しかしながら、国家資格の取得は最終目標ではありません。知識・技能の習得に励むことと同様、豊かな人間性の確立にも力を注いでください。

人間として、医療人としてどうあるべきか、高い理想を描き、それに少しでも近づく努力をしてください。

中庭がオープン!

一号棟と二号棟の角のスペースを学生の憩いの場とするために工事を行ってきましたが、この度写真のようなオープンテラスとして完成しました。

天気の良い日には、多くの学生が昼食やおしゃべりの場として利用しています。



若さが激突!

五月十五日(金)、坂戸総合グラウンドにおいて、日本医療科学大学と、城西放線技術専門学校共催による「スポーツデイ」が開催されました。

快晴のもと、多くの競技が対抗戦の形で行われ、さわやかな若さの激突が見られました。



編一集一後記

三月で城西医療技術専門学校が閉校し、在籍者は大学生だけとなりました。

本当の意味でのスタートの年、学生諸君の各方面での新たなチャレンジに期待しています。(S)

